

労働力調査（基本集計）

2020年（令和2年）7～9月期平均

結果の概要

[全 国]

- ・ 就業者数は6673万人と、前年同期に比べ77万人の減少
- ・ 完全失業者数は204万人と、前年同期に比べ43万人の増加
- ・ 完全失業率（原数値）は3.0%と、前年同期に比べ0.7ポイントの上昇

[地域別]

- ・ 就業者数の対前年同期増減をみると、北海道、東北、南関東、北関東・甲信、北陸、東海、近畿及び中国は減少、四国及び沖縄は同数、九州は増加
- ・ 完全失業者数の対前年同期増減をみると、全ての地域で増加
- ・ 完全失業率の実数及び対前年同期ポイント差は、次のとおり

北海道	2.7%	(0.6ポイント上昇)	近 畿	3.2%	(0.7ポイント上昇)
東 北	2.9%	(0.5 〃)	中 国	2.6%	(0.3 〃)
南関東	3.3%	(1.0 〃)	四 国	2.6%	(0.2 〃)
北関東・甲信	2.4%	(0.2 〃)	九 州	2.9%	(0.2 〃)
北 陸	2.1%	(0.3 〃)	沖 縄	3.5%	(0.6 〃)
東 海	2.8%	(0.7 〃)			

図1 地域別完全失業率

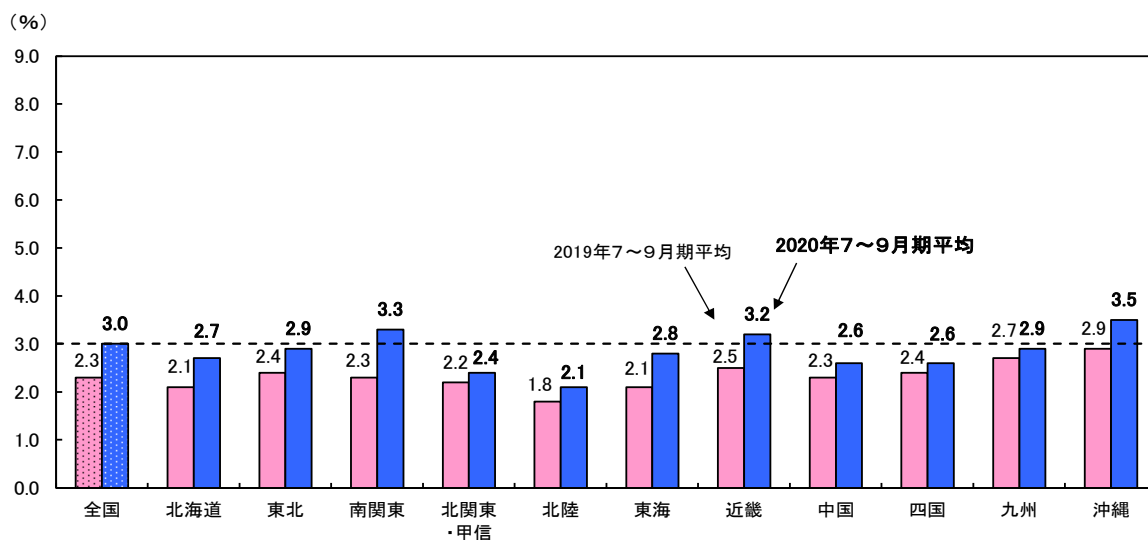


図2 地域別完全失業率の対前年同期ポイント差の推移

